

弥彦村競輪事業収支改善計画書

平成15年12月

弥彦村

## 目次

1. 事業収支改善計画に向けた基本的な考え方	1
2. 弥彦競輪場の概要	2
3. 弥彦競輪における近年の事業収支推移と今後3年間の収支見通し	3
4. 収支改善のための基本方針・具体的措置・効果	4
5. 今後の事業収支の見込み	5
(参考資料) 特例措置前及び特例措置後の収支推移	6
6. 交付期限の延長期間(特例期間)	7
7. 延長しようとする交付金の額の見込み	7
8. 延長後の最終交付期限	7
9. 特例期間、特例期限の収支見込み	7
10. 特例期限を設定した交付金の交付方法	7

## 1. 事業収支改善計画に向けた基本的な考え方

- \* 弥彦競輪においては、平成 10 年度末に借上施行者（新潟県四市町村競輪事務組合）が撤退したことにより、弥彦村は平成 11 年度から借上施行者の 5 開催分全てを引き受けて開催しており、また、売上額が大幅に減少していることから、単年度収支で赤字が続いている（但し、14 年度においては「ふるさとダービー」開催により単年度で黒字となっている）。
- \* 売上については依然として減少傾向が続き、民有場である弥彦競輪場では施設会社も減収減益となっており、このまま行けば施行者、施設会社両者共倒れの可能性も高い。
- \* 弥彦競輪においては、早くから専用場外売場の開設や GⅢ等の臨時場外売場設置の展開、他場開催の GⅠ・GⅡ・GⅢ等の場外受託発売にも積極的に取り組んできた。
- \* 一方、経費面においては、従事員賃金の引下げ、雇用調整の実施、各種手当の廃止、自動発券機の導入、警備等の委託料や消耗品費等の削減、施設借上料の引下げ、不採算場外売場（サテライト釧路）の閉鎖撤退等により開催経費の削減に取り組んできた。しかしながら、売上の減少により収支改善の効果があまり見られない状況となっている。
- \* こうした状況の中で、弥彦村では、競輪事業の安定した継続のため自転車競技法第 10 条の 2 の規定に基づき、「事業収支改善計画」を作成することとした。
- \* この「事業収支改善計画」は、売上拡大、経費削減とその収支改善効果を示すとともに、特例対象交付金の交付終了後の平成 28 年度までの収支予測を行ったものである。

## 2. 弥彦競輪場の概要

### <弥彦競輪場を取巻く環境と今後の課題>

- \*新潟県内の公営競技関連施設として、「弥彦競輪場」のほか場外車券発売施設である「新潟場外」と「サテライト中越」がある。
- \*新潟市にはJRA新潟競馬場があり、かつては新潟県競馬組合が施行する「三条競馬場」及び「新潟競馬場」も存在したが現在は廃止され、オープス中郷とともに大井競馬場をはじめとする南関東4競馬場が場外売場として年間300日以上開催している。
- \*弥彦競輪場は、周辺人口が少ないため売上の厳しい状況にあるが、新潟駅南に位置し交通アクセスにも恵まれ、後背人口も大きい新潟場外は、ナイター発売等により活性化が期待でき、施設のリニューアルが当面の課題である。

### <弥彦競輪場の特性>

- \*弥彦競輪場は民間所有の競輪場であるため、本開催（本場、電投）及び場外受託の売上に応じて施設賃借料（借上料）を負担する必要がある。
- \*冬季（12～3月）は積雪のため本開催が出来ず、場外受託のみの発売となっている。
- \*記者席、来賓席が充実しておらず、GⅡ及びGⅢ開催の度に仮設スタンドで対応している。

### 3. 弥彦競輪における近年の事業収支推移と今後3年間の収支見通し

#### <近年の事業収支推移>

- \* 弥彦競輪においては、平成14年度にふるさとダービーを開催したことにより、当該年度の「事業活動によるキャッシュ・フロー」が黒字になっている。
- \* しかしながら、これを除くと車券売上金は減少傾向にあり12年度の黒字額は約650万円程度（これには公営企業金融公庫還付金約1.8億円が含まれている）、13年度は約1.1億円の赤字となっている。前年度繰越金（現金預金の期首残高）や財政基金取崩しなどによって期末残高で黒字の確保を行っているが、実質的には赤字の状況である。

#### <今後3年間の収支見通し>

- \* 15、16年度においても同様に赤字（15年度は約3.2億円、16年度は1.2億円）の状況は続き、17年度はふるさとダービー開催によって一時的に黒字の確保が見込まれるが、18年度には再び赤字（約3.9億円）の状態になることが予想される。
- \* このように、15年度を挟んで過去3年間、今後3年間の弥彦競輪における収支見通しは極めて厳しい状況となっている。

4. 収支改善のための基本方針・具体的措置・効果

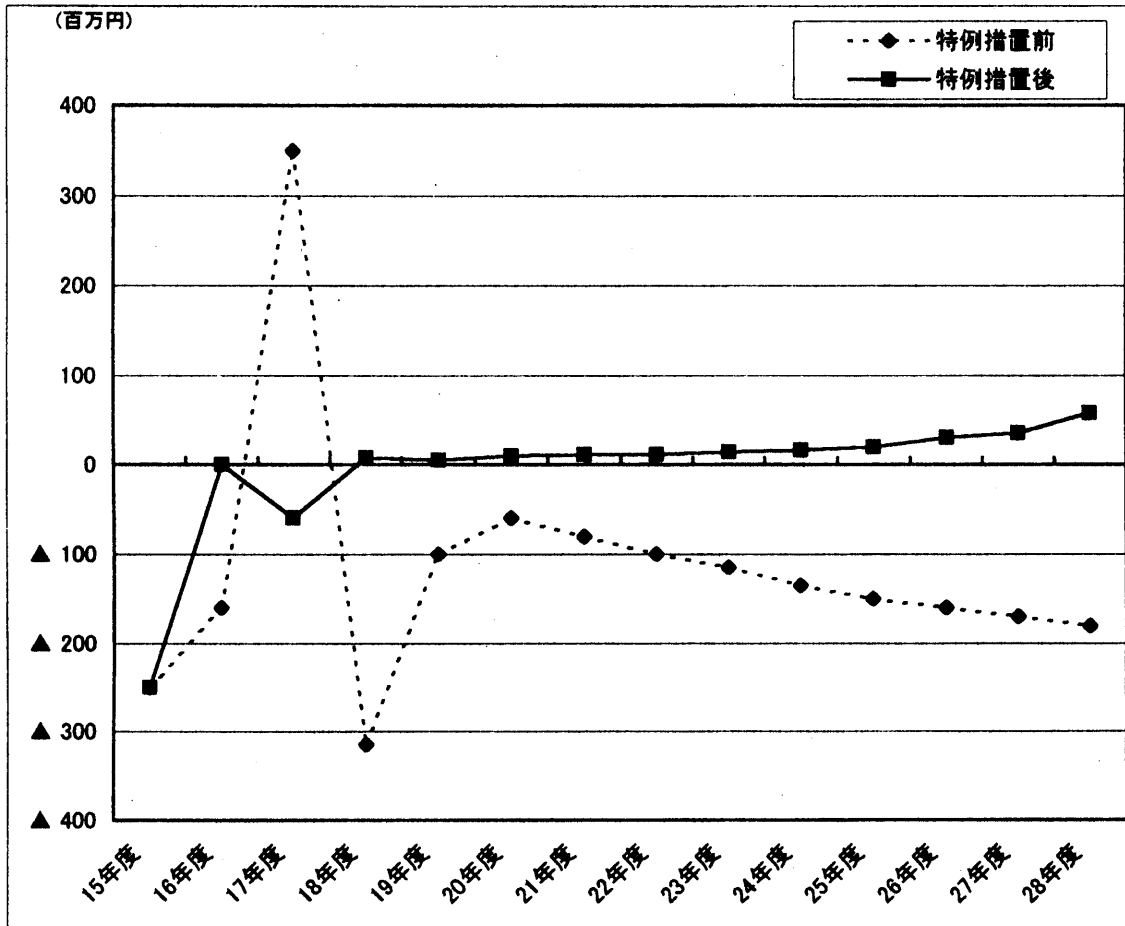
実施年度	売上拡大策	経費削減	収支改善効果
15年度	*施設会社との間の契約について、弥彦村議会にて議決。		—
16年度	*周辺対策施設の移築、周辺自治会と協議。 →発売日数の制限撤廃 ナイター発売 *サテライト会津の民活導入を推進 →開催日数増加により 売上・収益確保 *スピードプラスワン(395CH)を活用。 →普通開催の電投売上を確保 *インターネットライブ配信の実施。 →電投売上の確保	*サテライト会津の民活導入 →総合運営委託方式の開始	*サテライト会津での事務量大幅削減 →収益は従前の額を確保 *FⅠ、FⅡの電投で1億円売上増 →但し、本場・専用場外等にて8億円の売上減が見込まれる。
17年度	*村営競輪場として場外受託。 *競輪場ロイヤル棟の改修。 →GⅡ・GⅢ開催時の記者席・来賓席確保 ナイター発売(場外)にも対応 *周辺対策施設跡地に新潟場外を全面改築(施設会社は無償譲与)。 →発券機・払戻機等の自動化を更に推進。	*競輪場施設等を施設会社が弥彦村に寄付。施設の維持管理は施設会社に委託。 →競輪場使用料の削減	*施設賃貸料収入 : 4,500万円 (本開催終了後の場外受託分) *新潟場外リニューアル、発売日数増 →500万円 *競輪場管理委託料 : 1,000万円支出
18年度	*弥彦競輪場、新潟場外にてナイター発売(場外)開始。 *新潟場外の発売日数を270日程度まで拡大。 →場外受託拡大によって場外委託拡大。	*村営競輪場として本場開催を実施。 *新潟場外の民活導入。 →業務の合理化を更に推進	*施設借上料等削減 : 2億円 *場外受託収入(ナイター含む) : 1.2億円 *施設管理委託料等 : 6,000万円
19年度以降	*場外開催日数の確保。	*引続き開催経費削減、経営合理化。	

## 5. 今後の事業収支の見込み

- \*平成 18～28 年度の間、車券売上高は 130～120 億円へと徐々に減少していくことが見込まれる。収支改善策を講じない場合の歳入は 136～127 億円へ減少、歳出は 140～129 億円へと減少することによって、この間の収支は、3.1 億円から 6,000 万円程度の赤字で推移するものと見込まれる。
- \*一方、既に示した収支改善策を講じた場合には、18～28 年度の歳入は 139～128 億円、歳出は 139～127 億円程度で推移するものと見込まれる。そのため、この間の収支は改善へ向かう。18 年度以降は毎年黒字を確保し、特例対象交付金の交付が終了した翌年（28 年度）には約 5,800 万円程度の黒字確保が見込まれる。
- \*このように、交付期限の延長による収支改善措置（特例措置）を講じない場合は 18 年度以降毎年収支が赤字となる。
- \*一方、特例措置を講じた場合、18 年度以降は特例措置の対象となった交付金を交付（返済）しながらも黒字確保が見込まれる。（図表 1 参照）

(参考資料)

図表 1 : 特例措置前・及び特例措置後の収支推移





6. 交付期限の延長期間（特例期間）

\*16年度及び17年度の2年間。

7. 延長しようとする交付金の額の見込み

\*7.0億円。

8. 延長後の最終交付期限

\*27年度。

9. 特例期間、特例期限の収支見込み

(単位:百万円)

	特例期間		特例期限										
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
現金預金の期末残高	0	▲60	8	5	10	11	11	14	16	20	30	35	58

10. 特例期限を設定した交付金の交付方法

\*10年間の分割交付。

(単位:百万円)

年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
交付金の額	60	70	100	80	80	100	80	60	40	30

議案第 10 号

負担付き寄付受納について

次のとおり負担付き寄付を受納する。

1. 寄付の目的 事業収支改善計画に基づき弥彦競輪場を村有財産とするため
2. 寄付を受ける不動産、動産  
別紙のとおり
3. 寄付者 西蒲原郡弥彦村大字弥彦 2621 番地  
株式会社やひこドリーム 代表取締役 星野孝一郎
4. 寄付の条件 弥彦村が事業収支改善計画に基づき建設する新潟場外車券売場(建物、設備、什器、備品類)、湖南会館及び移築後の湖南会館跡地を寄付者に無償譲与する

平成15年12月19日提出

弥彦村長 大谷良孝

## 寄付を受ける不動産、動産

株式会社やひこドリーム所有の弥彦競輪場施設（建物、土地、走路及び走路内構築物、設備、什器、備品類）

1. 建物	正面スタンド	鉄骨鉄筋コンクリート造5階建	1, 938. 75	m <sup>2</sup>
	中央スタンド	鉄骨造平屋建	873. 59	m <sup>2</sup>
	宝光院側スタンド	鉄骨造平屋建	614. 34	m <sup>2</sup>
	サービスセンター	鉄骨造平屋建	809. 03	m <sup>2</sup>
	投票所棟	鉄骨造一部2階建て	948. 06	m <sup>2</sup>
	ロイヤルルーム棟	鉄骨造2階建	437. 70	m <sup>2</sup>
	管理棟	鉄骨造2階建	1, 789. 48	m <sup>2</sup>
	宝光院側入場券売場	鉄骨造平屋建	12. 24	m <sup>2</sup>
	神社側入場券売場	鉄骨造平屋建	13. 20	m <sup>2</sup>
	受付棟	鉄骨造平屋建	61. 14	m <sup>2</sup>
	警察官詰所	ブロック造平屋建	12. 15	m <sup>2</sup>
	倉庫	ブロック造平屋建	17. 64	m <sup>2</sup>
		合 計	7, 527. 32	m <sup>2</sup>
2. 土地	弥彦村大字弥彦字日夜入2874-1		723	m <sup>2</sup>
	〃	〃 2875-2	1, 550. 34	m <sup>2</sup>
	〃	登生寺2531-3	68	m <sup>2</sup>
		合 計 3筆	2, 341. 34	m <sup>2</sup>
3. 走路及び走路内構築物				
	走路		14, 843	m <sup>2</sup>
	走路内構築物一式			
4. 設備、什器、備品類				
	1. 建物に付随する設備、什器、備品類一式			